



西村クリニック便り 第92号

発行元

西村クリニック
四條畷市楠公 1-14-6
0728623001

8月11日(祝・木)PCR検査および抗原検査のみ行って
おります(完全予約制)※お電話で予約をお取りになってく
ださい※予約なしの来院は検査枠の都合によりお断りします

毎日暑い日が続いていきます。最近またコロナコロナと大変ですが子供達はそれぞれに長い夏休みを楽しんでいられることでしょう。しかしながら子供達にとつての最大の悩みは夏休みの宿題でしょう。夏休みの宿題と言え自由研究や読書感想文などがあると思われれます。私も大分昔夏休みの宿題に四苦八苦した思い出があります。特に読書感想文は大の苦手で、どうしても物語のあら筋を書いて、良かった、感動したなどと書いていた様な気がします。中校の時に与えられた課題の一つに菊池寛の「恩讐の彼方に」がありました。

余りにも有名な物語なので御存知の方も多と思いますが簡単にあら筋を述べます。場面設定は江戸時代です。この物語の主人公市九郎は主人の寵妾のお弓と非道な恋をし、主人から成敗されようとして逆に主人を殺してしまい、お弓と逃げます。



そして木曾山中の峠で土着し、街道を行く旅人を殺して強盗し生活をしていました。阿貴の念を覚え、市九郎はそこから一人で逃げ出し、美濃の国のある寺に駆け込みます。そしてその寺で改心して仏道に帰依し、了海と名乗って命を賭して人の役に立つべく諸国を遍歴します。そして山深い豊前の国に来た時、絶壁に添って細い山道をつたって行くと鎖渡しと呼ばれる難所があり、そこで何人も人が人馬もろとも絶壁から転落して死んでいくのを目のあたりにしてこの難所を避けるべくこの山をくりぬく坑道を掘り始めます。村の人に狂人扱いされても市九郎は十年二十年と一人でもくもくと掘り続けました。坑道が完成に近づいた頃、市九郎がかつて殺した主人の息子実之助が父の仇を討つ為そこにやって来ました。実之助は直ちに市九郎を討とうとしましたが市九郎が二十年かけて掘ってきた坑道のすこさに圧倒され、この大仕事が出来たのでいったん仇討ちを中止し、実之助自ら穴を掘る事に手を貸します。そして市九郎が掘り始めて二十一年目。ついに坑道が山を貫通した時、市九郎が実之助に「いざ私をお軌りなさい」と言うのに対し、実之助は市九郎の行って来た行為に感動し仇討ちどころか逆に市九郎の手を取って感動の涙を流す・・・というお話でありました。私はこの物語の感想文を例によって良かったとか感激したとしか書けませんでした。友人の感想文には「なんで・・・」「はたして・・・」「どうして・・・」といった言葉や「私はそうはしない」などと言った言葉がちりばめられており、最後に仇同士二人が手を取り合っただけのシーンに対しても「はたしてこれで二人は幸せだったのでしょうか」と言う鋭い文句で感想文が結ばれており、私はこの友人の洞察力の深さに思わず唖った記憶があります。それから五十年以上経った今改めてこの物語を読んでみましたが、私自身人生いろいろと経験したにも関わらず、相変わらず良かった感動したといった言葉しか出てこないのはやっぱり私も年をとった証拠なのではないでしょうか。



院長 西村 章

当院ではPCR検査および抗原検査で陽性になった方に追加のお薬の配達(無料)も行っております※代理の方に取りに来てもらう必要がありません※また当院でかかりつけの患者さまにつきましてもご希望される方は自宅まで配達させていただきます お電話をお願いします※

編集後記

夏季休暇は

8月12日(金)~15日(月)です

お休みの覚書の書き換えをお願いします

コロナになって思ったことを患者さまのアドバイスなどを載せさせていただきます♪・ネットスーパーの利用が便利だった・買い置きがあつて良かった・家族に感染しないようにお風呂は最後にして共有部分も消毒し感染せずに済んで良かった・以外とのお話も活躍した・普段から緊張感を持って感染者がでたときのシュミレーションができたので良かった・家族以外も濃厚接触者になる方のリストを作っていて良かった・薬の配達があつて助かって良かった・子供が先にコロナになり後で親がコロナになって子守りに困ったが新しいおもちゃを隠してたのでそれを出してきて良かった・おやつを小出しにしたのが良かった 他